# 「材料工学環境論」2012 年度レポート課題

材料工学環境論
2012/07/25

## 課題１　小金井市のごみ問題について

東京都小金井市では、同市内で発生する可燃ごみを同市内では焼却処理できないため、これまで周辺自治体に委託し処理してきましたが、昨年、「周辺自治体に対する可燃ごみ処理委託費はムダ」と主張した新市長が誕生したところ、周辺自治体がごみ処理を拒否、新市長は辞職に追い込まれ、再選挙で前市長が返咲くというドタバタ劇が起きました。小金井市のごみ問題は、まだ抜本的な解決策が見付かっていませんが、どのような解決策が考えられるでしょうか。

半世紀前の「東京ごみ戦争」やごみ処理場を迷惑施設でなくしたわが国内外の事例などを参考に、貴方が小金井市長選に立候補して勝利を目指すと想定し、政策提案する解決策をその理由と併せ記述してみてください。

【検索キーワード】　東京ごみ戦争　ごみ問題×解決策　ごみ処理×東京×埋立　ごみ処理×デンマーク×スキー　川崎×ごみ焼却×発電×市議（小田、竹田 etc）

## 課題２　北京市の大気汚染について

中国の首都、北京は現在、石炭燃料、バイク・自動車や工場の排ガスなどで深刻な大気汚染に見舞われています。大気汚染がもっとも酷かった日本の 1960 年代より深刻だともいわれていますが、日本では 1970 年代に入って大気汚染は劇的に改善しました。それには、環境規制政策と石油危機＝オイルショックによる石油価格の高騰が寄与したとされています。その歴史を振返り、どうすれば北京の大気汚染を軽減できるか、対策を論述してください。

【検索キーワード】　自動車×排出ガス×規制　東京×大気汚染×訴訟　石油危機　大気汚染×防止　日本×石油危機×省エネ　日本×オイルショック×省エネ×公害　大気汚染×オイルショック　東京×大気汚染×訴訟

**********

・提出期限：8 月 13（月）

・提出方法：原則として Word ファイルを荒岡宛のメールに添付して提出。メアドは、takuya@araoka.net 。英語でも可。

・注意：課題は 2 題。どちらか一つではないことに注意。Wikipedia などインターネット上のコンテンツの引用は自由だが、参考文献として引用先 URL を貼っておくこと。

・量的目安：A42 ページ程度以上。質重視だが、量も評価要素として大切。

以上